



三輪山（大神神社御神体の山）ハイキング案内

今回は7世紀初めに官道としてつくられた山辺の道から我が国で最も古い神社の1つである大神神社（三輪明神）を訪ねます。近鉄桜井駅より大和川（初瀬川）の上流域にある海柘榴市跡に再度訪れたいと思います。金屋の石仏を散策しながら、山辺の道を辿り大神神社で参拝したいと思います。三輪山への登山口は狭井神社にあります。社務所で白嚢を借り受けなければなりません。（お一人300円・研究科）三輪山入山心得十箇条がありますので、熟読願います。また、写真撮影は禁止となっていますのでご注意ください。

担当（源流シリーズG）

- | | | |
|--------|---|-------------------|
| 1：日 時 | 平成28年10月27日（木） | 集合場所：近鉄桜井駅改札口 10時 |
| 2：持ち物 | 弁当、水筒、雨具、双眼鏡、ストック等 | |
| 3：目的地 | 大神神社の御神体三輪山（457m） | |
| 4：行 程 | 桜井駅・栗殿口バス停・海柘榴市跡・仏教伝来地・金屋の石仏・大神神社・狭井神社・三輪山・大神神社（昼食）・JR三輪駅（解散） | |
| 5：行程距離 | 約8km 歩行時間4時間 | |
| 6：経 路 | 下記の地図参照 | |



三輪山全景（甘南備山）



←三輪山への登山道

入山心得十箇条→

登拝口→



三輪山（大神神社御神体の山）ハイキング

日 時 : 2016 年 10 月 27 日 (木) 晴れ
集 合 : 近鉄桜井駅改札口 10:00
行 程 : 桜井駅・海拓榴市跡・仏教伝来の地・金谷の石仏・三輪山平等寺・
大神神社・狭井神社・三輪山・JR 三輪駅 (解散)
参加者 : 浅野・石原・伊藤・大石・児玉・坂根・中曾根・並木・日景・藤井・前野・
壺三・山下・倭 (14 名)

◎ 10:15 桜井駅前の案内図を見て出発

◎ 海拓榴市 (つばいち) 跡

桜井市金谷の海拓榴市はヤマト王権時代から市が立ち栄えたと考えられている。
金谷の初瀬川を下り大和川に出る水運の河湾があり水陸交通の要衝の地だった。
遣隋使、遣唐使はここから派遣された。



◎ 大和川 (初瀬川) 馬井手橋

仏教伝来の地 (馬井手橋を北に渡った所に石碑が建っている)
ここから山の辺の道が始まる。

◎ 11:00 金谷の石仏 (石板浮彫伝弥勒如来像・石板浮彫伝釈迦如来像)

小堂に安置され格子越しに拝観する。
2 枚の岩に浮彫された像は右が釈迦如来、左が弥勒如来とされる。作は鎌倉時代？
天平末期？2つの説がある。大神神社近くの平等寺にあったが、破壊されるところを
村人が移し今も守り続けている。

◎ 11:25 大神神社

大神神社は三輪山全体が御神体であるため本殿を設けず、直接三輪山に祈りを捧げる。
「古事記」「日本書紀」の神話に創祀の伝承が明瞭に記されていることは重要な事で
大神神社が神代に始まった古社中の古社と認識されており、祭神の神格が如何に高い
かを物語っている。

神社の境内では七五三参りの可愛い子供連れの姿があった。

◎ 狭井神社 (神殿左奥に狭井の名の由来といわれる薬井戸・狭井がある)

ここで休憩、昼食をとり 12:15 出発する。

◎ 三輪山 (大神神社御神体)

社務所の人の説明、注意を聞き、12 名が首にタスキをかけて出発する。

途中 3～4 回の小休憩を入れ 13:30 頂上に到着する。

登りは急登な所もあったが頂上は平らで岩石が多く、登山道以外は人間が立ち入れない
神の領域であった。祈りを捧げて下山する。

休舎のところで壺三さんが水質検査のための水を汲む。

14:40 社務所前に前着する。

◎ 15:00 三輪駅で解散 秋晴れの爽やかな一日でした。

水 質 検 査 の 記 録

記録者名 (全三 文作)

1 : 日 時 2016年10月27日 採水時刻 13時05分

2 : 天 候 ○晴れ、曇り、雨、雪、その他 ()

3 : 温 度 気 温 17 °C 水 温 16 °C

4 : 採水場所 三光の瀧

5 : 気づいたこと 採水した場所は、修行場の瀧の水

6 : 測定結果

・COD 2mg/ℓ (6) mg/ℓ

・アンモニウム態窒素 0.2mg/ℓ (0. 2) mg/ℓ

・亜硝酸態窒素 0.2mg/ℓ (0. 005) mg/ℓ

・硝酸態窒素 2mg/ℓ (0. 5) mg/ℓ

・リン酸態リン 0.2mg/ℓ (0. 02) mg/ℓ

採水した測定は自宅に持ち帰り、測定しました。



測 定